

万博

このままで大丈夫!?

立ち止まって
考えてみませんか?

夢洲での開催が危険!!

万博が開かれる夢洲は大阪湾につくられた人工島で、現役のごみや廃棄物の処分場です。メタンガスや硫化水素などの発生、熱中症やヒアリなど、この間、指摘されてきた様々な懸念や危険性は、どれも夢洲を会場にしたことで発生しています。安全に開催できる保証のない万博は今からでも中止すべきです。

■ ガス爆発の危険性は今も

夢洲の地中からはメタンガスが今も1日2トンも発生し続けており、昨年3月に起こった「ガス爆発事故」のような危険性は解消されていません。

ガス爆発
事故現場

万博・IR予定地の夢洲



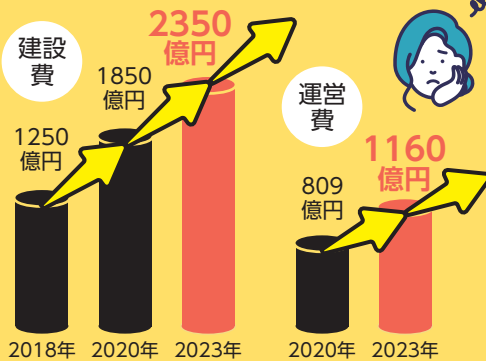
■ 災害時に孤立

夢洲へのアクセスは2ルートのみ。南海トラフ地震・津波に被災すると通行不可となり、夢洲は孤立すると万博協会が認めています。

■ 赤字のツケは税金で!?

夢洲の汚染された土壌改良や液状化対策、電気や下水道整備など、万博関連のインフラ整備には膨大な費用がかかっているうえパビリオンなどの建設費も運営費も上振れし、チケットの売れ行き不振で赤字になる危険性が高く、さらなる税金投入もありえます。

膨張する万博費用



ねらいは カジノ(=IR)誘致

そもそも夢洲での万博開催は当初の計画にはなく、松井知事(当時)が強引に決定。カジノ(=IR)誘致計画のある夢洲のインフラ整備を万博名目でやってしまうためです。

子どもらをよう連れていかん…

「万博遠足」を見送る自治体・学校が次々

府は小中高の児童生徒を学校行事で万博に無料招待するとしていますが、これまでに交野市、熊取町、吹田市、島本町をはじめ、不参加を表明する学校が各地で増えています。子ども達の安全を大前提で考えれば、当然の判断ではないでしょうか。

吹田市

熱中症対策や団体行動の際の安全確保に不安

熱中症対策や下見の時間が十分にとれないことによる安全面の懸念がある

島本町